

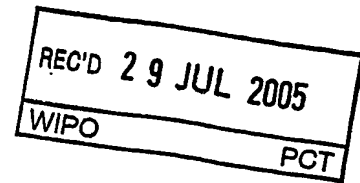
特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)

〔PCT36条及びPCT規則70〕



出願人又は代理人 の書類記号 PCT-016-2004	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2 0 0 4 / 0 0 7 4 9 8	国際出願日 (日. 月. 年) 3 1 . 0 5 . 2 0 0 4	優先日 (日. 月. 年) 1 3 . 0 6 . 2 0 0 3
国際特許分類 (I P C) Int.Cl. ⁷ H01R12/06		
出願人 (氏名又は名称) 住友電装株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で _____ 4 _____ ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a. ☒ 附属書類は全部で _____ / _____ ページである。

☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)

☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b. ☐ 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

<input checked="" type="checkbox"/>	第I欄	国際予備審査報告の基礎
<input checked="" type="checkbox"/>	第II欄	優先権
<input checked="" type="checkbox"/>	第III欄	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
<input checked="" type="checkbox"/>	第IV欄	発明の単一性の欠如
<input checked="" type="checkbox"/>	第V欄	PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
<input type="checkbox"/>	第VI欄	ある種の引用文献
<input type="checkbox"/>	第VII欄	国際出願の不備
<input type="checkbox"/>	第VIII欄	国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 12.04.2005	国際予備審査報告を作成した日 14.07.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 石井 孝明 電話番号 03-3581-1101 内線 3332	3K 9337

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
☐ PCT規則12.4にいう国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第1-13 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第2-5 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第1 _____ 項*、22.04.2005 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第1-13 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-5	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-5	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-5	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: US 5761050 A (Ian ARCHER) 1998. 06. 02

文献2: JP 3-263771 A (富士通株式会社) 1991. 11. 25

文献3: 日本国実用新案登録出願63-98348号(日本国実用新案登録出願公開
2-20368号)の願書に最初に添付した明細書及び図面の内容を撮影し
たマイクロフィルム(太陽誘電株式会社) 1990. 02. 09

文献4: JP 8-195568 A (日本電装株式会社) 1996. 07. 30

請求の範囲 1-3

請求の範囲 1-3に記載される発明は、上記文献1または文献2と、文献3とにより進歩性を有しない。

上記文献1及び2のいずれにも、2枚のプリント回路基板の導体同士を接続する接続端子を、半田付けの必要ないプレスフィット端子としたことが記載されている。また、上記文献3には第5頁や第1図に、2枚のプリント基板の導体同士を接続する接続端子として、第1垂直部と第2垂直部との間に支持部分を備えたことが記載されている。

上記文献に記載された技術はいずれも、複数の回路基板を平行に配置して、該複数の回路基板それぞれの導体同士を接続する接続端子に関する技術である。当業者であれば、半田付けを必要としない上記文献1もしくは文献2に記載されたプレスフィット端子の利点を享受しつつ、上記文献3に記載されている接続端子の形状を採用する程度のことは容易に想到し得たことである。なお、支持部分の形状がプリント基板やバスバーに対して平行に延在するように水平となっているか否かは、支持という機能の範囲で設計時に導き出される範囲の構成であり、この構成に進歩性は認められない。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

請求の範囲 4

上記文献 1－3 には、下方に設けられるプリント基板にプレスフィット端子の第 1 垂直部を挿通させるための切欠部を設けたことが記載されていない。

しかし、このような部品の干渉を避ける為の切欠部は様々な工業製品に採用されているごく一般的な手段であり、この構成の採用には進歩性は認められない。

請求の範囲 5

上記文献 4 には、箱内でプリント基板等を支持する構成が記載されている。この文献に記載されているように、箱内に設けられた段状部やリブでプリント基板等を支持すること自体は新規な技術ではなく、このような支持構造を採用したことには進歩性は認められない。

請求の範囲

- [1] (補正後)上下に間隔をあけて配置されるプリント基板の導体同士、プリント基板の導体とバスバー、あるいはバスバー同士を電気接続するプレスフィット端子であって、導電性金属からなる棒状材を屈曲して形成し、長尺な第1垂直部と、該第1垂直部の下端より屈折して前記プリント基板あるいはバスバーと平行に延在させる水平部と、該水平部の先端より上向きに屈折して前記第1垂直部と対向させる短尺な第2垂直部を備え、上記第1垂直部の上部は上方に配置する上記プリント基板あるいはバスバーの端子孔へのプレスフィット部とする一方、上記第2垂直部は下方に配置する上記プリント基板あるいはバスバーの端子孔へのプレスフィット部としていることを特徴とするプレスフィット端子。
- [2] 請求項1に記載のプレスフィット端子を用い、上下に配置するプリント基板の端子孔の内周面に導体と接続した導体層を設け、該端子孔に上記プレスフィット端子の上記プレスフィット部を圧入するとプリント基板の導体と電気接続される構成としているプレスフィット端子を用いたプリント基板の接続構造。
- [3] 上記上下に配置されるプリント基板は、上方のプリント基板の外周部を下方のプリント基板の外周部より外方に突出させ、これら上下のプリント基板には周縁に沿って上記端子孔を設けた導体を並設させ、
複数の上記プレスフィット端子を上記プリント基板の外周部に沿って並列させ、各プレスフィット端子を第1垂直部を外側、第2垂直部を内側として、下方より上下2枚のプリント基板の上記端子孔に圧入し、第2垂直部のプレスフィット部を下方のプリント基板周縁の端子孔に圧入接触させている一方、第1垂直部のプレスフィット部を上方のプリント基板周縁の端子孔に圧入接触させている請求項2に記載のプレスフィット端子を用いたプリント基板の接続構造。
- [4] 上記上下に配置されるプリント基板は同等の大きさとし、下方のプリント基板にプレスフィット端子の第1垂直部を挿通するための切欠部を設け、これら上下のプリント基板には周縁もしくは上記切欠部に沿って上記端子孔を設けた導体を並設させ、
複数の上記プレスフィット端子を上記プリント基板の外周部に沿って並列させ、各プレスフィット端子を第1垂直部を外側、第2垂直部を内側として、下方より上下2枚のプ